

ECONOMY TOPICS

経済トピックス

2024.4.30
No.478



業況 BSI 6 期ぶりにマイナス圏へ (2024 年 1～3 月期の県内企業業況調査結果)

調査内容 2024 年 1～3 月期の県内企業の業況実績
2024 年 4～6 月期の県内企業の業況見通し

【調査結果概要】

1. 2024 年 1～3 月期の業況

- (1) 業況 ⇒ 「業況 BSI」 $\Delta 3.3$ (前期比 7.7 ポイント低下) 6 期ぶりにマイナス圏へ
 - (2) 地区別 ⇒ 「業況 BSI」 全地区で低下
 - (3) 売上高・出荷高・受注高 ⇒ 「売上高 BSI」 4 期連続低下、「出荷高 BSI」 2 期ぶり低下
「受注高 BSI」 3 期ぶり低下
 - (4) 採算 ⇒ 「採算 BSI」 3 期ぶり低下
 - (5) 設備投資 ⇒ 「設備投資 BSI」 製造業 2 期ぶり低下、非製造業 2 期ぶり上昇
2. 経営上の問題点 ⇒ 「仕入単価上昇」最多 以下「人員不足」続く
3. 来期の見通し ⇒ 「業況 BSI」低下見込み $\Delta 4.8$ (当期比 1.5 ポイント低下)

◎調査要領

調査時期 2024 年 4 月上旬

調査対象企業 県内中堅企業 493 社

回答企業 331 社 (回収率:67.1%)

(産業別) 製造業 70 社 建設業 70 社 卸売業 68 社 小売業 48 社 運輸・サービス業 75 社

(地区別) 青森地区 124 社 (青森市、むつ市、東津軽郡、下北郡)

津軽地区 98 社 (弘前市、五所川原市、黒石市、平川市、つがる市、北津軽郡、西津軽郡、中津軽郡、南津軽郡)

県南地区 109 社 (八戸市、十和田市、三沢市、上北郡、三戸郡)

※BSI とは ⇒ Business Survey Index の略であり、企業業況判断指標という意味。

業況判断は前年同期との比較によるものであり、指標の求め方は次の通り。

BSI = 「業況良好企業及びやや良好企業の割合」 - 「業況不振企業及びやや不振企業の割合」

【本件の照会先】 あおもり創生パートナーズ株式会社 TEL : 017-718-3161 担当 : 今井 亮平

1 2024年1～3月期の業況

[1] 業況 ～6期ぶりにマイナス圏へ～

◎全産業「業況BSI」は、△3.3(前期比7.7ポイント低下)6期ぶりにマイナス圏へ

製造業 △2.9(同17.0ポイント低下)、非製造業 △3.5(同5.2ポイント低下)

<上昇> 卸売業 4.4(同13.7ポイント上昇) 建築材料、飲食料品などが寄与

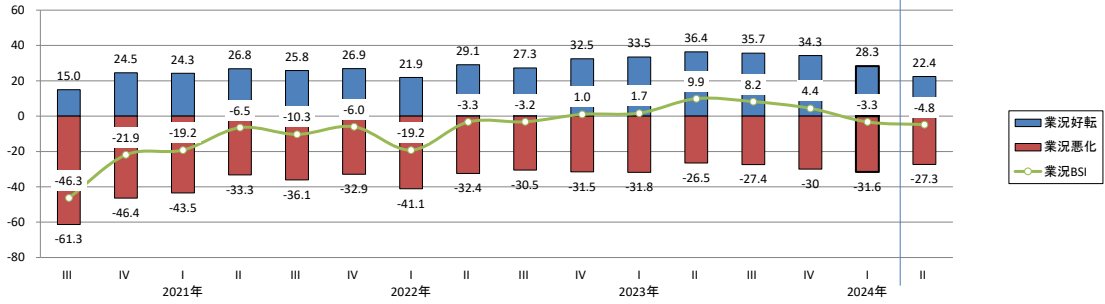
<低下> 運輸・サービス業 8.1(同0.5ポイント低下) ガス業、飲食店などがマイナス寄与

製造業 △2.9(同17.0ポイント低下) 窯業・土石製品、印刷などがマイナス寄与

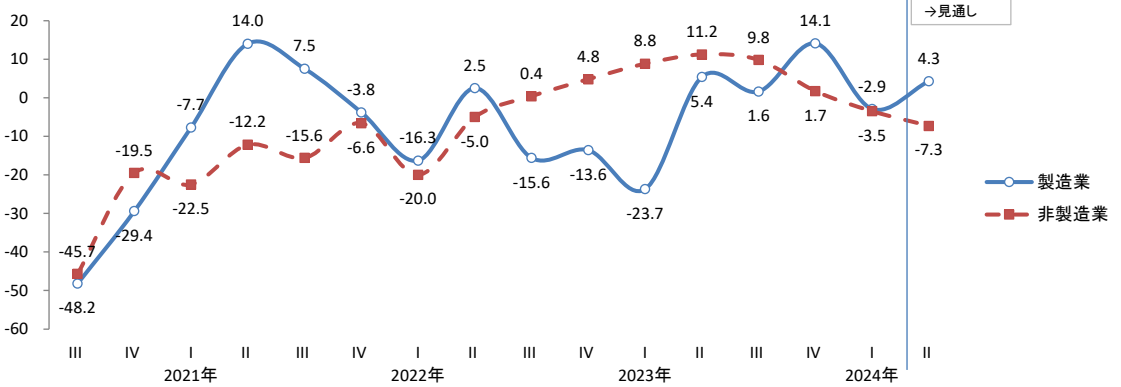
建設業 △13.0(同17.5ポイント低下) 総合工事、職別工事がマイナス寄与

小売業 △18.8(同18.8ポイント低下) 飲食料品、織物・衣服などがマイナス寄与

(1図)業況BSIの推移



(2図)製造業、非製造業別業況BSIの推移



(1表)産業別業況BSIの推移

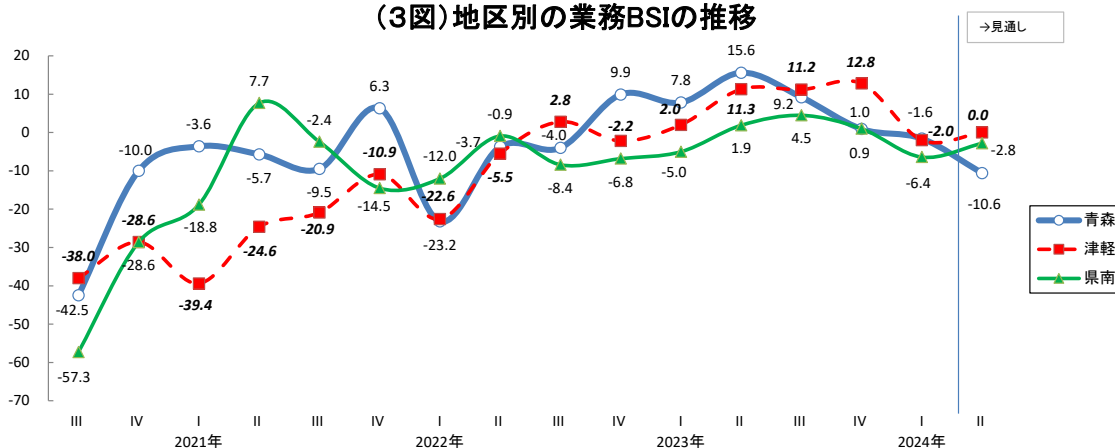
	製造業	非製造業				合計
		建設業	卸売業	小売業	運輸・サービス業	
2023年1～3月期	-23.7	-8.0	-3.0	15.7	29.6	1.7
2023年4～6月期	5.4	-5.5	6.2	8.3	34.7	9.9
2023年7～9月期	1.6	10.3	5.9	-12.8	25.9	8.2
2023年10～12月期	14.1	4.5	-9.3	0.0	8.6	4.4
2024年1～3月期	-2.9	-13.0	4.4	-18.8	8.1	-3.3
来期見通し	4.3	-18.8	1.5	-20.8	4.0	-4.8

[2] 地区別の業況 ～「業況BSI」全地区で低下～

- ◎青森地区「業況 BSI」 △1.6 (前期比 2.5 ポイント低下)
- ◎津軽地区「業況 BSI」 △2.0 (同 14.8 ポイント低下)
- ◎県南地区「業況 BSI」 △6.4 (同 7.4 ポイント低下)



(3図)地区別の業務BSIの推移



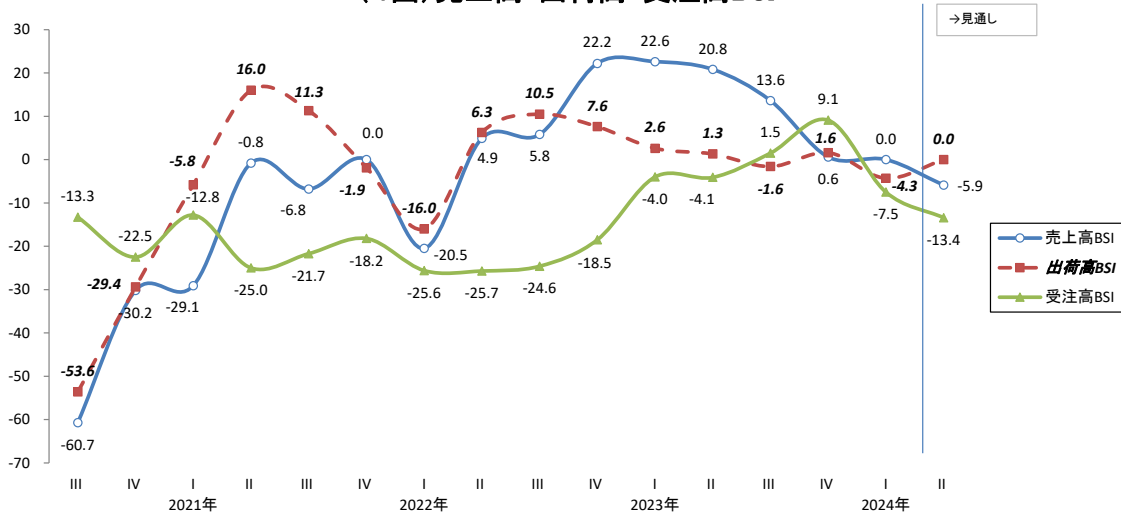
(2表)地域別BSIの推移

	業況BSI			生産高BSI			出荷高BSI		
	青森	津軽	県南	青森	津軽	県南	青森	津軽	県南
2023年 1 - 3 月期	7.8	2.0	-5.0	-16.0	-10.0	-7.4	10.7	-5.0	0.0
2023年 4 - 6 月期	15.6	11.3	1.9	-7.7	4.3	-24.0	3.8	4.2	-4.0
2023年 7 - 9 月期	9.2	11.2	4.5	0.0	11.8	-17.4	-13.6	11.1	0.0
2023年 10 - 12 月期	0.9	12.8	1.0	-10.5	19.0	-13.0	-5.3	13.6	-4.3
2024年 1 - 3 月期	-1.6	-2.0	-6.4	-8.7	0.0	-24.0	0.0	9.5	-19.2
来期見通し	-10.6	0.0	-2.8	-21.7	20.0	-20.0	-8.7	26.3	-11.5
	売上高BSI			受注高BSI			在庫投資BSI		
	青森	津軽	県南	青森	津軽	県南	青森	津軽	県南
2023年 1 - 3 月期	33.8	15.5	15.0	-4.3	30.0	-25.0	22.5	26.0	15.0
2023年 4 - 6 月期	31.2	12.7	13.7	-4.0	-10.5	0.0	24.6	3.8	10.9
2023年 7 - 9 月期	17.8	8.2	14.0	-4.5	-10.5	15.4	3.1	19.6	-3.8
2023年 10 - 12 月期	-1.4	0.0	4.1	8.7	10.5	8.3	0.0	15.6	2.1
2024年 1 - 3 月期	1.3	-3.5	1.8	0.0	-15.8	-8.0	13.0	8.2	11.8
来期見通し	-10.5	-7.0	1.8	-4.3	-26.3	-12.0	11.6	8.2	3.9
	設備投資BSI			採算BSI			資金繰りBSI		
	青森	津軽	県南	青森	津軽	県南	青森	津軽	県南
2023年 1 - 3 月期	7.1	6.3	5.1	3.9	-11.2	-7.0	4.8	1.0	4.3
2023年 4 - 6 月期	10.5	16.1	5.9	3.3	-5.2	-18.6	8.9	3.2	3.9
2023年 7 - 9 月期	2.6	9.8	15.2	-0.9	-3.1	-7.5	11.2	7.3	1.8
2023年 10 - 12 月期	9.2	2.4	7.4	-0.9	6.0	1.0	5.6	3.6	10.4
2024年 1 - 3 月期	10.8	3.2	8.7	-7.6	-14.4	-1.0	10.3	2.0	2.9
来期見通し	9.9	-2.1	13.6	-4.3	-6.2	-1.0	5.2	2.1	3.0

[3] 売上高～4期連続低下～、出荷高～2期ぶり低下～、受注高～3期ぶり低下～

- ◎ 「売上高 BSI」 0.0 (前期比 0.6 ポイント低下) 4期連続低下
 - <上昇> 卸売業△1.5(同 5.2 ポイント上昇) 飲食料品、建築材料などが寄与
 - <低下> 運輸・サービス業 6.8(同 0.6 ポイント低下) 自動車整備、飲食店などがマイナス寄与
 - 小売業△12.5(同 7.7 ポイント低下) 飲食料品、その他の小売などがマイナス寄与
- ◎ 「出荷高 BSI」 △4.3(前期比 5.9 ポイント低下) 2期ぶり低下
 - 窯業・土石製品、印刷、鉄鋼業、業務用機械器具などがマイナス寄与
- ◎ 「受注高 BSI」 (建設業) △7.5(前期比 16.6 ポイント低下) 3期ぶり低下
 - 総合工事、職別工事がマイナス寄与

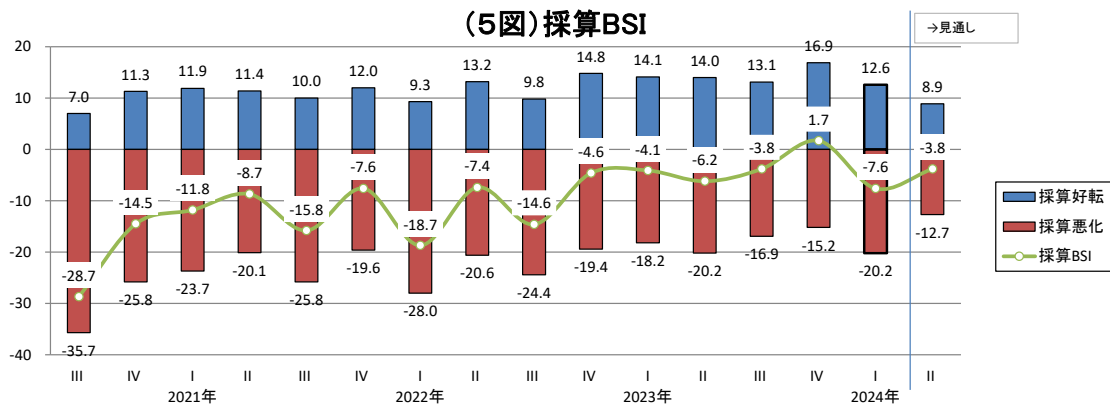
(4図) 売上高・出荷高・受注高BSI



[4] 採算 ～「採算BSI」3期ぶり低下～

◎全産業「採算BSI」△7.6（前期比9.3ポイント低下）3期ぶり低下

<低下> 卸売業 1.5(同2.1ポイント低下) 機械器具、その他の卸売などがマイナス寄与
 製造業 △3.0(同6.1ポイント低下) 飲料・たばこ・飼料などがマイナス寄与
 運輸・サービス業 △5.8(同7.3ポイント低下) ガス、道路旅客などがマイナス寄与
 建設業 △13.2(同8.5ポイント低下) 総合工事、職別工事がマイナス寄与
 小売業 △21.3(同28.4ポイント低下) その他の小売などがマイナス寄与



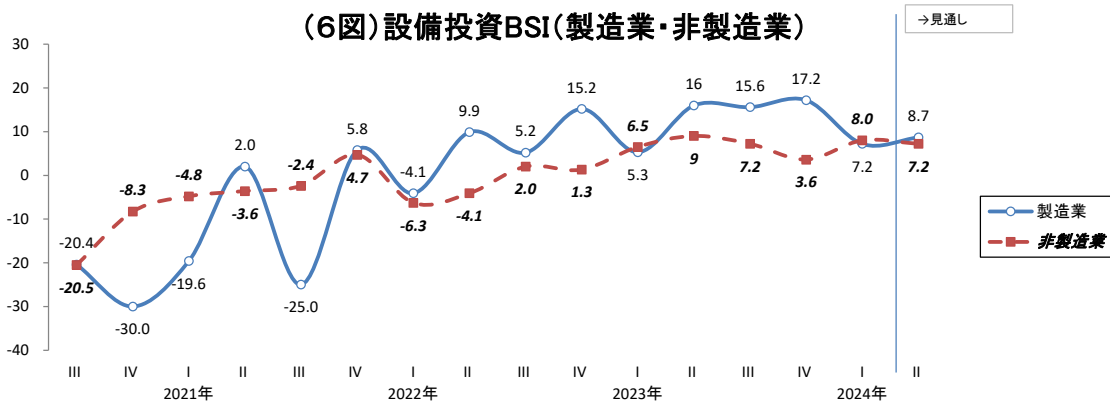
[5] 設備投資 ～ 製造業2期ぶり低下、非製造業2期ぶり上昇～

◎「製造業」 7.2（前期比10.0ポイント低下）2期ぶり低下

窯業・土石製品、飲料・たばこ・飼料、ゴム製品などがマイナス寄与

◎「非製造業」8.0（前期比4.4ポイント上昇）2期ぶり上昇

<上昇> 小売業 15.9(同13.1ポイント上昇) 機械器具、飲食料品などが寄与
 卸売業 3.0(4.8ポイント上昇) 機械器具、飲食料品などが寄与
 建設業 3.0(同3.0ポイント上昇) 設備工事、総合工事が寄与
 <低下> 運輸・サービス業 12.2(同0.1ポイント低下) 道路旅客、広告などがマイナス寄与



2

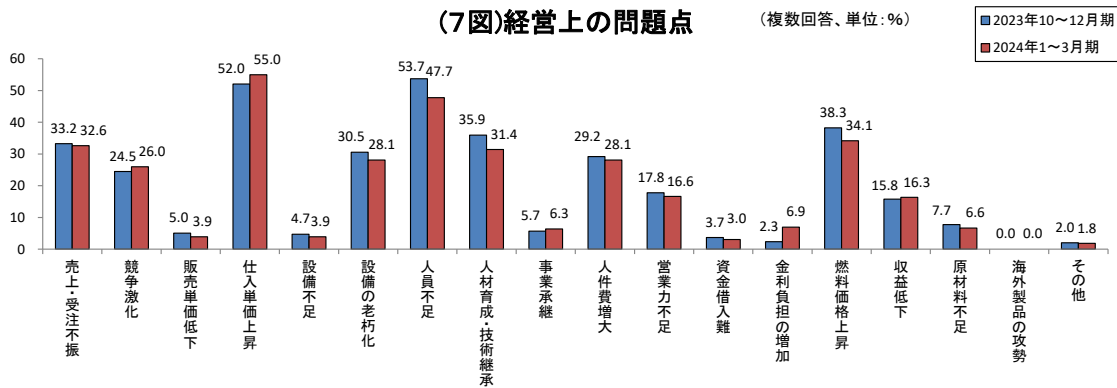
経営上の問題点 ～「仕入単価上昇」が最多～

◎「仕入単価上昇」が55.0%と最多

- ・全産業 「仕入単価上昇」最多 55.0% 次いで「人員不足」47.7%
- (製造業) 「仕入単価上昇」最多 64.3%
次いで「設備の老朽化」「燃料価格上昇」41.4%
- (非製造業) 「仕入単価上昇」最多 52.5% 次いで「人員不足」49.8%

(7図)経営上の問題点

(複数回答、単位：%)



3

来期の見通し ～「業況BSI」低下～

◎来期(2024年4～6月期)の全産業「業況BSI」△4.8(当期比1.5ポイント低下)

- <上昇> 製造業 4.3(同7.2ポイント上昇) 食料品、飲料・たばこ・飼料などが寄与
- <低下> 小売業 △20.8(同2.0ポイント低下) 機械器具、各種商品などがマイナス寄与
- 卸売業 1.5(同2.9ポイント低下) 建築材料、機械器具などがマイナス寄与
- 運輸・サービス業 4.0(同4.1ポイント低下) 道路旅客などがマイナス寄与
- 建設業 △18.8(同5.8ポイント低下) 職別工事、総合工事などがマイナス寄与

(8図)業況BSIの見通しと実績の推移

